

とべとべ



No.93

題 字: 村井龍全さん(水墨画家)

イラスト: なまはげ子さん

昭和48年1月13日第三種郵便物承認

HSK通巻番号932号(毎月10日発行)

発行 2024年(令和6年)11月10日

編集人 札幌市中央区南8条西2丁目5-74-402

NPO法人「飛んでけ!車いす」の会

照井レナ 発行番号第93号

電話 011-215-8824 (FAX 共用)

発行人 北海道障害者団体定期刊行物協会(HSK)

定 価 100円(会員は会費を含む)

目次

- P2 Special Thanks! (寄付御礼)
- P3 届けた車いす国別一覧
- P4-7 秋の恒例行事 今年も開催!ハロウィン・パーティー
- P8 ベトナムフェスティバルで飛んでけを紹介!
歓迎!新インターン生
- P9 車いす 届けました・届きました
- P10-11 「すおすだい」カンボジア <JICA 事業報告>
令和5年度国際居住記念賞受賞
- P12 「飛んでけ」サポーターのご案内
掲示板(イベント・お知らせ)

車いすを運んでいただきありがとうございます

旅行者・輸送者：3名

車いすのご提供ありがとうございます

寄付者：22名

ご寄付ありがとうございます

- 寄付金

寄付者：27名

- リングプル、アルミ缶ほか

寄付者：12名

- 切手・書き損じ葉書

寄付者：1名

- その他

寄付者：1名

(順不同、2024年6月16日～2024年10月15日)

飛んでけ！車いすの会を指定して
寄附すると税額控除が受けられます。

- ★ 個人の場合：所得税と個人住民税
- ★ 法人の場合：法人税

控除額の算出方法

(控除対象寄附金の合計額※-2,000円) × 10%
例) 5万円寄附した場合：3,000円の税額控除が受けられます。(※上限は総所得金額等の30%)

詳しくは記載のQRコードより
さぼーとほっと基金ホームページ
をご覧ください。



札幌市
さぼーとほっと
基金

Wheelchairs delivered to 84 Countries

◆アフリカ・欧州地区		◆アジア・太平洋地区		⑳ シリア	4
① ベラルーシ	11	① アフガニスタン	20	㉑ フィジー	9
② ベナン	17	② バングラデシュ	46	㉒ ミクロネシア	12
③ ブルキナファソ	24	③ ブータン	1	㉓ バヌアツ	6
④ エジプト	2	④ カンボジア	238	㉔ 東ティモール	3
⑤ ガーナ	17	⑤ 中国	67	㉕ ソロモン諸島	10
⑥ ケニア	27	⑥ インド	24	㉖ サモア	4
⑦ レバノン	1	⑦ インドネシア	131	㉗ 台湾	10
⑧ マラウイ	24	⑧ イラク	5	㉘ パラオ	5
⑨ モーリタニア	2	⑨ ヨルダン	6	㉙ トルクメニスタン	1
⑩ モロッコ	11	⑩ 韓国	40	◆南米・中米・北米地区	
⑪ モザンビーク	1	⑪ キルギス	11	① アルゼンチン	16
⑫ ナミビア	1	⑫ ラオス	32	② ボリビア	4
⑬ ルーマニア	8	⑬ マレーシア	116	③ ブラジル	16
⑭ セネガル	1	⑭ モンゴル	32	④ キューバ	24
⑮ 南アフリカ	6	⑮ ミャンマー	53	⑤ ドミニカ	5
⑯ タンザニア	16	⑯ ネパール	144	⑥ エルサルバドル	57
⑰ チュニジア	6	⑰ パキスタン	50	⑦ ホンジュラス	12
⑱ ウガンダ	3	⑱ パプアニューギニア	31	⑧ ジャマイカ	9
㉒ ザンビア	25	㉒ フィリピン	250	⑨ ニカラグア	31
㉓ ジンバブエ	3	㉓ ロシア	10	⑩ ペルー	14
㉔ ナイジェリア	21	㉔ サイパン	2	⑪ セントルシア	1
㉕ エチオピア	5	㉕ シンガポール	25	⑫ ウルグアイ	14
㉖ ルワンダ	4	㉖ スリランカ	80	⑬ パラグアイ	8
㉗ カメルーン	5	㉗ タジキスタン	3	⑭ コスタリカ	8
㉘ ガボン	6	㉘ タイ	463	⑮ チリ	4
㉙ マダガスカル	10	㉙ トルコ	3	⑯ カナダ	2
㊱ ウクライナ	100	㊱ ウズベキスタン	46	⑰ メキシコ	2
◆日本(国内リサイクル)	195	㊱ ベトナム	635	⑰ エクアドル	32

2024年10月15日現在（網掛け部分は2024年6月16日以降の増加分）

※2020年8月から集計頻度が変更になりました。

これに伴いホームページの台数情報と若干異なる場合がございます。

秋の恒

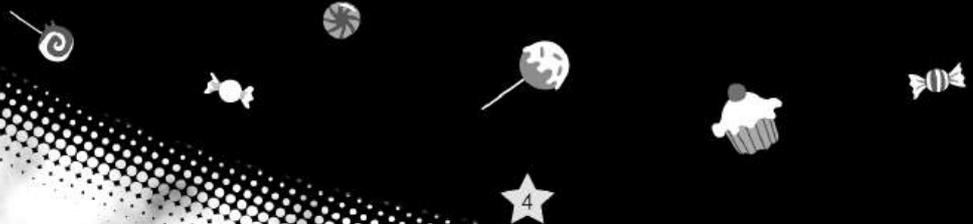
今年も開催!

ハロウィーン



毎年、秋の恒例となった飛んでけ!のハロウィーン・パーティー。今年は10月27日に、星園の活動室(体育館)で開催しました。このパーティーをいつもコーディネートしてくれるのは、飛んでけ理事も務めていただいているシンディ・エドワードさん。近年は日本でもハロウィーン・パーティーが盛んに行われていますが、シンディさんがコーディネートしてくれるのは、まさに本場アメリカのハロウィーン・パーティー。シンディさんはハロウィーン・パーティーの専門家であるご友人も誘ってくれるので、飛んでけのハロウィーン・パーティーは毎回、ひと味違った趣向で行われます!

さて、ハロウィーンと言えば、なくてはならないのが、あのカボチャをくり抜いて作るジャック・オー・ランタン。まずは参加してくれた子どもたちに、あのジャック・オー・ランタンづくりに挑戦してもらいました。



例行事

・パーティー



固いカボチャの皮を、どうやって加工していくのかと心配になりましたが、ジャック・オー・ランタンに使用されるカボチャは日本のものよりも柔らかく、ランタンにしやすいようでした。

会場の一部に真っ暗な通路を設けて、怖いモンスターたちを配置。特に、ハローウィンなのに和装した飛んでけの照井代表の、お化けと魔女をミックスした仮装は、子どもたちだけでなく大人たちも本気で怖がっていました。

会場はハローウィンの風船などで飾りつけ、音楽は主に50年代と60年代のハローウィン・ポップスが流れていました。そして、あの日本の「ろうそく出せ」とそっくりなお菓子を配るアクティビティが用意されていたのはびっくりしました。会場である星園の活動室のあるフロアのあちこちにモンスターたちが隠れ、子どもたちが、その隠れているモンスターを見つけ合言葉「トリック・オア・トリート」と言うと、モンスターからお菓子がもらえるというアトラクションがありました。





そんなアトラクションの数々を楽しんでいる合間に、シンディさんが「なぜ怖い仮装をするのか」といった、ハローウィンの起源、由来などの説明もありました。



ハローウィンの起源や由来には日本のお盆と共通する事柄も多く（前述したお菓子くばりなども然り）、感慨深かったです。

ほとんどのゲストがハローウィンの仮装とダンス・パーティーに参加するのは初めてと見え、たくさんの思い出ができたようでした。参加者のなかには、今回たまたま参加し、飛んでけの活動に関心を持っておられた方もいたようです。時折ご家族で海外に行かれるらしく、その際には車いすの輸送も手伝っていただけるとのことでした。



衆議院選挙の投票日と重なったため、今年は昨年よりも参加者が若干少なかったのですが、とても多様な皆様に参加してくれたイベントでした。

毎回、このハローウィン・パーティーを





コーディネートしていただくシンディさんから感謝の言葉をいただきました。

「パーティーが成功したのは、買物、ポスターや招待状づくり、バルーン・アーチや紙粘土でのモンスターの頭づくり、コスチュームや室内装飾、お菓子の準備、パーティー当日の設営、後片付け、フィードバック・アンケートの実施など、長時間にわたって働いてくれたボランティアのおかげです。パーティーでは、司会者、通訳、コスチュームアシスタント、受付係、そして「トリック・オア・トリート」のモンスターたちが、コミュニケーションのお手伝いやパーティーのアクティビティの案内に奔走してくれました。特にハローウィン・パーティーの専門家である私の友人には感謝しています。」

来年もみんなでいっぱい楽しみましょう！



札幌市
さぼーとほっと基金
助成事業



このイベントは「さぼーとほっと基金」の助成を受けて実施しています



ベトナムフェスティバルで 飛んでけを紹介！



ベトナムフェスティバル in 札幌 2024 は、「食と文化を通じた、北海道とベトナムの交流事業で、市民・観光客とともに両国の絆を深めるイベントです。

フェスティバル前夜祭において、10月にベトナムに届ける予定の車いすを、運んでくださるボランティアの松坂優さん(社会福祉法人えぼっく)、松本未香さん(株式会社しーぼーと)とともにベトナムの要人の方に、目録にして贈呈いたしました。

レセプションでは、ベトナム語と日本語で本会の哲学、車いす整備の匠のこと、世界には7,000万人の車いすを必

要としている人がいること(WHO調べ)、これまで贈った84ヶ国3,410台の車いすのうち、628台がベトナムに贈られていることなどが紹介されました。



歓迎！新インターン生



はじめまして。今年度インターン生として活動させていただいている、高校2年生の上坂芽生です。

私が「飛んでけ！車いすの会」のインターンを選んだ理由は、小学生の頃に偶然読んだ本がきっかけです。その本を通じて、生まれた地域によって不条理な格差が当たり前のように存在することを知り、「この格差を少しでも小さくしたい」と強く思うようになりました。その思いを形にする第一歩として、インターンに参加しました。

「国や地域を問わず、車いすを必要とする方に1台でも多く届けたい」という飛んでけ！車いすの会の皆さんの熱意に触れ、活動を通じて社会の一員としての責任を学んでいます。これからも多くを吸収し、自己実現に向けて歩んでいきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。



車いす 届けました！届きました！

ベトナムフェスティバルで出会ったボランティアの方々に
車いすを届けていただきました

ベトナムに住む NGUEN THANH NHAT (グエン・タン・ニャット) さんと NGUYEN VAN HIEU (グエン・ヴァン・ヒエウ) さんのもとに、ベトナム・フエへ渡航した松坂さん・松本さんによって車いすが届けられました。

NHATくん



NHAT君は脳性麻痺で四肢が麻痺しているため、自分で体を動かすことができません。不明瞭ではありますが言語を発することができ、四肢麻痺でも学校に通っているとのことでした。お届けした車いすは学校生活で使用しているようです。今回届けたような、アームレストが跳ね上げることができ移乗が楽にできるタイプの車いすはベトナムで普及していなかったということもあり、とても感動されていたそうです

HIEUくん

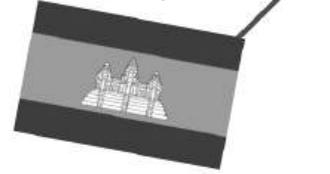
HIEU君は脳性麻痺でとても大きな不随意運動があり、今まではお母さまが抱えて過ごしていました。ただ、常に手足をバタバタさせている状態で、しかもだんだんと体も成長してくるので、お母さまも抱えて過ごすのがやっとで限界にきていたところでした。手足が長いので、周りのものにぶつける危険も大きかったようです。今回お届けしたのは、サイドガードがなく、体を固定するベルトのついたバギータイプの車いすでした。お母さまも、抱きかかえずに市場に買い物に行ったり一緒にお散歩をしたりできますと、喜ばれていたそうです。



すおすだい カンボジア

< JICA 事業報告 >

「すおすだい」は
カンボジアの
クメール語で
「Hello」
だよ!



スオスダイ!

JICA 草の根技術協力事業担当の上杉です。

カンボジアでの事業について連載してきた『すおすだい』は今回で最終回となります！
最終報告会の実施と、緊急開催したクラウドファンディングについてご報告いたします。

CHA の新施設建設クラウドファンディング実施

9月1日～10月20日にかけて、今回のJICA事業での支援先の1つとなったCHA (Cambodian Handicraft Association) の新施設建設を支援するクラウドファンディングを実施しました。

CHAが現在の拠点を急遽退去することとなり、新施設建設に日本円で1,000万円ほどかかることがわかりました。

CHAの代表は知人から借金をして何とか建設をスタートさせましたが、資金は全く足りていない状況ということから、このクラウドファンディングを行うことにしました。目標金額を20万円としていましたが、最終的には287,469円のご支援を頂くことができました。

ご協力頂いたみなさま本当にありがとうございました！今後の建設状況はSNSなどで発信していきますので、ぜひチェックしてください！



令和5年度 国際居住記念賞受賞

去る4月某日、一般社団法人日本住宅協会様主催の国際居住年記念賞を受賞しました。

その表彰が7月下旬、札幌国際ビルにて行われました。当記念賞は、開発途上国等における居住環境問題の改善に貢献する活動を20年以上継続されてきた団体を対象として、その功績を顕彰し、今後の活動を奨励することを目的とされています。

この度の受賞はこれまで飛んでけに関わっていただいたボランティアさん、旅行者さん、車いすをご提供いただいた方々、札幌通運株式会社様はじめ飛んでけを支援いただいた皆様のおかげです。本当にありがとうございました。

草の根事業の 最終報告会を開催

7月13日(土)にプラザ星園の中会議室にて、今回の草の根事業の最終報告会を行いました。準備期間の少ない中で少数の参加となりましたが、事業期間中の写真展示も行い、JICA担当者の方にもご参加頂きました。

今回の事業では、インドネシアで開催に引き続き、カンボジアでも整備技術の移転活動を行いました。多くの車いすユーザー、車いすユーザーを支援する方々へ整備講習を行うことができました。また、講習実施後の調査では、多くの参加者の技術向上や行動変容が観察され、意味のある活動になったと確信しています。

しかしながら、技術支援は長期間にわたって、多くの人たちに行う必要があるため、2年間で数回の活動では十分ではないと感じています。

今後もカンボジアへの技術支援が継続されていくことを願っています。



CHA新施設建設の様子 その2



それでは、
チュオップ・クニア・ペール
・クラオイ！（また今度！）

こちらの QR コードから
クラウドファンディング
のページを見ることができます。



「飛んだけ」サポーターのご案内

●会員になる

- ・あなたの会費で世界中の障がい児・者に車いすが届きます。
- ・年3回会報を送ります。
- ・メールマガジンでイベント案内などが入手できます。
- ・車いすを無料で借りることができます。

■正会員	一般	5,000円/年
	学生	1,000円/年
■賛助会員	一般	2,000円/年
	団体	5,000円/年

●車いすを提供する

「家に使っていない車いすがある」「職場や知り合いが車いすを処分する」等の情報があればご連絡ください。無料で引き取ります。

●車いすを届ける

途上国に旅行する方で、車いすを直接届ける体験をしてみたい方はご協力ください。

●物品で支援する

リングブル・書き損じはがき・未使用切手・海外土産品・商品券(QUOカード等)・中古DVD/CDも集めています。

●寄付をする・会費を振り込む

【郵便振替口座】記号番号 02780-6-2973 【ゆうちょ銀行口座間振込】記号 19070 番号 5406461

【北洋銀行】札幌駅南口支店 普通 4117153 【ウェブ決済システム・Syncable】※詳細は事務局へ

掲 示 板

イベント

- ▶ 年末年始休み 12月25日(水)～1月6日(月)
- ▶ 飛んだけ!新年会 1月18日(土) 17:00～(会場未定です)

お知らせ

- ▶ 本会のリサイクルカレンダー市は発展的に解消いたします!
これまでの応援ありがとうございました。
ユネスコチャリティー・カレンダー市 2025 が次の日程で開催されますので、ご案内いたします。
(ホームページ: <https://unesco-sapporo.com/calendar/>)
★1月11日(土)～12日(日) 10:00～16:00
かでの2・7会場 1F 展示ホール(中央区北2条西7丁目)
★1月14日(火)～17日(金) 12:00～20:00(最終日は17:00まで)
チ・カ・ホ会場 北大通交差点広場
※なお、カレンダー・手帳のご協賛についても、ホームページに記載しております。

- ▶ 車いすの学校 受講生募集中
毎月第2・第4土曜日 13:30～
基本的な車いす整備技術を伝授します。およそ5回の受講で修了証を授与いたします。

- ▶ ボランティア募集中
コーディネーター(英語でメールのやりとりができる方)、車いす整備ボラ
会報とべとべ編集ボラ、事務作業ボラ

※ 問い合わせは事務局(照井・小林)までメールまたは電話・FAX でお願います。
※ 営業日: 火曜日と第5を除く土曜日の午後

●Web 版会報

会の活動を広く知っていただくため、会報「とべとべ」をホームページで公開しています。下記のアドレスをクリックし、表紙画像を再度クリックするとPDF版がダウンロード可能です。
<https://tondeke.org/tobetbeforweb/>



飛んだけ!車いすの会
25周年

「飛んだけ!車いす」の会 事務局(担当: 照井・小林)
(事務局は基本的に火曜日と第5を除く土曜日の午後のみ開設)
電話/FAX 011-215-8824 メール: tondeke@bz01.plala.or.jp